

指定管理施設事業評価票(平成29年度分)

1. 施設所管課

教育委員会事務局生涯学習課

2. 指定管理施設概要

施設名	名称	日光市杉並木公園ギャラリー			
	所在地	日光市今市533番地5			
指定管理者	名称	一般財団法人 日光市公共施設振興公社			
	代表者名	代表理事 阿久津 正			
	住所	日光市瀬尾1640番地22			
指定期間		平成28年4月1日	～	平成33年3月31日	5年間
選定方法		公募	評価実施年	5年間のうち2年目	
施設設置目的		美術、書道、写真、工芸等の展示及び鑑賞の場を市民に提供し、もって市民の知識及び教養の向上を図るとともに、市民文化の振興に寄与するため、日光市杉並木公園ギャラリーを設置する。			
主な実施事業		市民への絵画、書道、写真等の作品展示・鑑賞事業			

3. 利用状況(目標と実績)

成果指標		単位	平成28年度		平成29年度		平成〇〇年度		平成〇〇年度		平成〇〇年度	
			目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
a	入場者数	人	17,000	15,656	17,300	13,258						
b	利用件数	件	50	48	51	45						
c	施設稼働日数	日	300	287	303	263						
d	施設利用者満足度	%	80	93.8	81	94.9						
e	接遇満足度	%	80	93.8	81	97.4						

4. 指定管理業務にかかる収支状況 (単位:円)

区分	平成28年度	平成29年度	平成〇〇年度	平成〇〇年度	平成〇〇年度
収入計 A	4,600,000	4,600,000	0	0	0
指定管理料	4,600,000	4,600,000			
利用料収入 C					
自主事業収入					
その他					
支出計 B	2,966,382	4,346,871	0	0	0
指定事業費	2,966,382	4,346,871			
内人件費 D	1,426,889	813,800			
内外部委託費 E	1,539,493	3,533,071			
自主事業費					
事業収支 A－B	1,633,618	253,129	0	0	0
人件費率 D／B	48.10%	18.72%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
外部委託比率 E／B	51.90%	81.28%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

※着色セルは、自動計算としている。

補足説明	

サービス改善の状況

施設内外の環境美化(清掃、花・樹木の剪定に努め、快適な施設提供を実施した。併設の上今市駅利用者への観光案内・パンフレットの提供により、市内観光に役立てた。

5. 管理運営状況

評価項目		評価基準	指定管理者 自己評価	施設所管課 評価
① サービスの履行の確認	人員体制	事業計画に即し、人員を過不足なく配置している。	B	B
		必要な資格、経験を有する人員が確保されている。	B	B
		事業計画に即し、計画的に研修等を年1回実施している。	B	B
	外部委託	外部委託の内容は、事前に市の承認を受けており、適切である。	B	B
		外部委託業者に対して、協定書等を遵守させている。	B	B
	法令遵守等	法令、条例等に基づき、必要な点検、報告等を行っている。	B	A
	個人情報保護	個人情報保護に関する法令を遵守している。	B	B
		個人情報の漏えい、滅失等の事故防止策に対する研修を年1回行っている。	B	B
	情報公開	情報公開に関する法令や条例に準拠した運用がなされている。	B	B
		協定書に従い、情報を適切に管理し、公表している。	B	B
	管理記録	業務日誌等を適切に整備、保管している。	B	B
		点検、修繕等の履歴が適切に記録、保管されている。	B	B
② サービスの質の評価	施設管理	協定書に従い、開館日、閉館時間等を遵守している。	A	A
		事故防止及び安全確保のための研修を年1回行っている。	C	C
	利用者対応	利用許可、案内等を迅速かつ適切に行っている。	B	B
		利用者に対して、設備、備品等を適切に提供している。	B	A
	事業運営	言葉遣い、態度、服装等接遇が適切である。	B	B
		事業計画に即し、受託事業を実施している。	B	B
		施設の目的に沿った自主事業を実施している。	B	A
	維持管理	事業内容がサービス水準の向上に寄与している。	B	B
		仕様書等に従い、清掃、警備、衛生管理等を適切に行っている。	B	A
		仕様書等に従い、施設や設備の保守管理を行っている。	B	B
	環境配慮	備品台帳に基づき、備品を適切に管理している。	B	B
		協定書に従い、適切に修繕を行っている。	B	B
③ 安定性	環境配慮	環境配慮率選考計画取組点検表において、(1)が取組項目の2/3に達している。	B	B
	広報活動	事業の開催案内、ホームページの管理等を適切に行っている。	B	B
	苦情等対応	要望、苦情等に対して迅速かつ適切に対応している。	B	B
		要望、苦情等を整理し、市に報告している。	B	B
	利用者アンケート	利用者アンケート調査を実施し、その結果が妥当である。	A	A
	利用状況	利用実績は、目標水準である。	C	C
	総括	「業務の内容・水準」に関する評価【18項目】	B	B
	経理事務	専用の口座、帳簿等を備え、適切に経理事務を行っている。	B	B
	予算執行	収支予算書の範囲内で適正に予算執行している。	B	B
	経費縮減	経費が縮減され、又は縮減に向けた努力を行っている。	B	B
	収支状況	収支予算書と比較して、収支状況は妥当である。	A	A
	総括	「経費の収支等」に関する評価【4項目】	B	B
所見 (成果・課題等)		(指定管理者自己評価)		
		利用者が快適に施設を使用できるよう、館内の備品を整備し、施設内外の清掃に努めた。また展示会準備のための30分早明けを継続して行い、会場設置の手伝いを行うなど、利用者への利便性の向上を図った。また、催事情報については、市広報、各新聞社、公社ホームページ等において周知を図るほか、施		
		空き日を利用し、振興公社の自主事業として「日光子写真展」を実施し、施設の利用促進に取り組んだ。一方で、利用者の高齢化と固定化が進み、入場者数		
		減少が続いた。また展示室側面の傷みなど施設の経年劣化が進んでいるため、簡易的な補修を随時行うほか、今後計画的な維持管理を行いたい。		
		(所管課評価)		
		施設利用者の快適性を図るため、施設の内外の美化及び清掃に努めた。ギャラリーを使用する団体の年齢層の高齢化により、ギャラリーの使用頻度の		
		低下がみられるが、毎月の催事開催が途切れないように展示計画し、作品の展示の場と機会の提供に努めている。今後も継続して、施設の管理、催事等に		
		努力して欲しい。		
前半段階評価		B	総合評価 ※3段階評価	B(良好)

※評価区分

評価基準	A(優良)	= 協定等の遵守に加え、仕様書より優れた管理が行われた。
	B(良好)	= 協定等を遵守し、仕様書に沿った管理が行われた。
	C(要改善)	= 一部、協定等が遵守できていない。又は、不測の事態等により仕様書に沿った管理ができなかった。
※施設所管課は、指定管理者に対するモニタリングや事業報告書の内容等を踏まえ、評価します。		
※数値が記載されているものに関しては、数値目標達成がB評価となります。		
総括評価	A(優良)	= 評価項目のうち、A判定が80%以上
	B(良好)	= A、C 以外
	C(要改善)	= 評価項目のうち、C判定が20%以上
総合評価	A(優良)	= 自己評価、所管評価の《総括》にCが含まれず、かつAが4つ以上ある。
	B(良好)	= A、C 以外
	C(要改善)	= 自己評価、所管評価の《総括》にCが2つ以上含まれる。